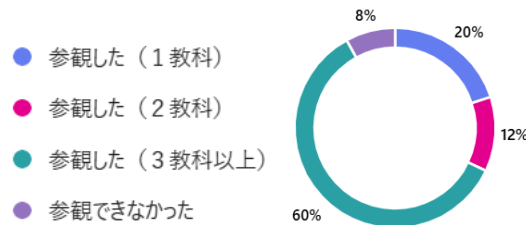




郡上北高校 探究通信

no. 1

例年、本校では授業改善を目的として、年間を通じて授業見学や研究会などを計画しています。今年度は、5月の3週間を「ぶらりと立ち寄れる授業見学週間」として設定しました。昨年度の参加率が約7割だったのに対し、今年度は約9割の教員が参観したことから、日頃から気軽に互いの授業を見学できる雰囲気づくりの重要性を改めて実感しました。



5月29日(木)に行われた第1回授業研究会では、進学コースの3クラス(国語・数学・社会)を対象に実施しました。アンケート結果からは、多くの教員が「生徒の主体性を引き出すこと」「学びを生活や他教科とつなげること」「協働的な学びの場づくり」を重視して授業を構築していることが明らかになりました。発問や小テスト、ICTの活用を通じて基礎力を定着させつつ、生徒の興味や疑問を起点とした探究的な学びを大切にしている姿勢が多く見られました。また、教員自身が授業を楽しみ、生徒の反応に柔軟に対応することで、安心して発言できる雰囲気づくりにも努めている様子がうかがえます。

本校は、市内の小・中・高校で学びを完結する生徒が多いという特徴があります。今後、小中学校で開催される市教研などを通じて、生徒がどのような学びを経て本校に入学してくるのかを知る良い機会となりますので、ぜひご参加ください。なお、次回の校内授業研究会は9月に実施予定です。

以下がアンケート結果をまとめたものとなります。

Q:自らの授業で取り入れたいこと、参考になったこと等を記入してください。

1. 授業方法:授業の構成や進め方に関する工夫が多く挙げられました。

- ・ グループワークの活用:政経の授業でのグループワークが印象的で、自身の教科にも取り入れたい
- ・ 発問の工夫:現代文では、生徒の思考を促す発問が参考になった
- ・ 小テストの導入:授業冒頭に基本事項の確認として小テストを行うことで、スムーズな導入ができる。
- ・ 宿題の扱い:前回の宿題を丁寧に解説し、次の内容へ自然につなげる工夫が参考になった。
- ・ 説明と理由付け:説明の際に「理由を付けて説明する」ことを重視している。

2. 教員の工夫:教員の授業運営や生徒対応の工夫に関する意見です。

- ・ 柔軟な進行:生徒の反応を見ながら進める柔軟な授業運営が大切。
- ・ 発表活動の工夫:授業内容を活かした発表活動の設計が参考になった
- ・ 雰囲気づくり:生徒がわからないことを恥ずかしがらずに言える雰囲気づくりが印象的だった
- ・ 確認しながら進める:一つひとつ丁寧に確認しながら進行する姿勢が安心感を与えていた。

3. 生徒の反応:生徒の主体的な学びや反応に関する内容です。

- ・ 興味・疑問を中心に授業を構成:生徒の素朴な疑問を授業に取り入れ、次回に共有するなどの工夫、学びの継続性を意識
- ・ 意見の多様性:政経のグループワークでは、生徒が多様な意見を出し合い、活発な議論が行われていた点
- ・ 発言しやすい雰囲気:現国では、生徒が自由に発言できる雰囲気があり、教員がそれを丁寧に拾っていた点

4. ICT活用:ICTやAIの活用に関する実践例が多く挙げられました。

- ・ AIの活用:政経で生成AIを活用し、生徒が自分の考えを深める手段として使われていた
- ・ MetaMoJiの活用:タブレットとMetaMoJiを使った意見整理や発表活動が効果的だった
- ・ 視覚的支援:タイマーをタブレットで表示するなどの工夫、視覚的にわかりやすい

5. その他

- ・ 授業を楽しむ姿勢:教員自身が授業を楽しむことで、生徒も楽しく学べる
- ・ クラスごとの対応:クラスの雰囲気に応じて授業スタイルを柔軟に変える

Q「普通の授業で、生徒の学力や技能の向上を目指して取り組んでいること・工夫していること」

1. 基礎力の定着と思考力の育成

- ・ 小テストや演習の活用:授業冒頭に be 動詞などの基本事項を確認する小テストを実施。
- ・ 基礎から応用へ:まずは基礎を固め、そこから思考力を育てる授業設計。
- ・ 共通テスト・模試の活用:必要最低限の知識を明確にし、思考力を重視した問題解決型の授業を展開。

2. 生徒の主体性・発言を促す工夫

- ・ 「間違ってもよい」雰囲気づくり:自分の意見を安心して述べられる環境を整備。
- ・ ペア・グループ活動の重視:教え合いを通じて理解を深める。
- ・ アウトプットの重視:インプットだけでなく、発表や実践を通じた表現の場を確保。

3. 授業構成・指導の工夫

- ・ 目標の明確化:プリントやホワイトボードで本時の目標・課題を明示。
- ・ 説明の工夫:理屈に偏らず、生徒のレベルに合わせたシンプルな説明を心がける。
- ・ 机間巡視と個別対応:進捗を把握し、声かけやヒントで自信を引き出す。

4. 教科別の工夫

- ・ 保健体育:
 - ・ 保健:図やグラフを使い、生活に活かせる内容を重視。
 - ・ 体育:声かけや模範提示を通じて、個々の技能向上を支援。
- ・ 国語:読んだ文章を実生活に活かす活動を取り入れる。
- ・ 社会:歴史的事象を他教科と関連づけて思考を深める。

5. ICT・視覚支援の活用

- ・ ICT の活用:実物提示や視覚的にわかりやすい教材づくり。
- ・ 色分けや図解:問題文の読み取りや思考の整理を支援。

6. 探究・思考の深化

- ・ 思考実験や例示:抽象的な内容を具体化し、理解を促進。
- ・ 自己内省とアウトプット:まずは自分で考え、答えを導き出すプロセスを重視。

Q「主体性を引き出すために授業内で工夫や取り組んでいること、単元の流れ」

1. 動機づけの工夫

- ・ 代表例①:「授業内の内容をもとに生徒があげた興味や疑問を中心としてメタモジを使ってまとめ・発表する(3時間)
→この後に教科書をみってみる(2時間)」
- ・ 代表例②:「目標級を各自で選択→放課後も自主的に学習したいという申し出が増えた」
- ・ 代表例③:「生徒の興味をひくようなものを導入として扱い、教材自体に興味関心を持たせる」
- ・ 代表例④:
 - ① **興味を引く導入(1時間)** 生徒の関心を高める活動を通じて、学習への意欲を引き出す。
 - ② **教科書の内容をまとめる(教材により時間差あり)** 導入で得た関心をもとに、教科書の内容を整理・理解。
 - ③ **生活や行動への応用(1時間)** 学んだ内容を生徒の生活に結びつけてまとめ、実践的な理解へとつなげる。

2. 段階的な支援やヒントの工夫により、生徒の自立的な学びを促進。

- ・ 代表例①:「基礎となるやり方を説明しながら実施→その後は各自のペースでトレーニング」
- ・ 代表例②:「最初は1つ1つしっかりと説明し、徐々に自分たちだけで動けるように促す」
- ・ 代表例③:「サブクエスションの答えに自分でたどり着けるような問題設定やヒントの出し方を工夫」

3. 探究的学習

- ・ 代表例①:「生徒の素朴な疑問が上がった場合は、次回に全体で共有し一緒に考えるようにする」
- ・ 代表例②:「演示実験を通して現象と理論を結びつけ、日常生活と関連付けて考えさせる」

4. 生徒同士の教え合いや協働を通じた主体性の育成

- ・ 代表例①:「教員が教えず、グループで答えを導き出し、最後に解説を行う授業」
- ・ 代表例②:「グループによる教えあいや活動を多く取り入れる」
- ・ 代表例③:「チームで自分たちが今何をすべきか考えさせる引き出しづくりを行っている」

5. ICT 活用

- ・ 代表例:「メタモジを使ってまとめ・発表する活動を通じて、生徒の疑問を可視化し共有」

6. 評価・振り返り

- ・ 代表例:「単元の流れ:本文を読んで内容理解→関連題材でパフォーマンステストを実施」

詳細を紹介します。

授業例1:体育

- **段階的な自立支援:**最初は丁寧に説明し、徐々に生徒が自分たちで判断・行動できるように促している。
- **指示を最小限に:**タイマーなどで時間管理は行うが、活動の進行は生徒自身に任せる。
- **考える力の育成:**今何をすべきか、どんな練習が必要かを自分たちで考えさせる「引き出し」を用意。
- **協働的な学びの重視:**グループ活動や教え合いを積極的に取り入れ、互いに学び合う環境を整備。
- **達成感のある授業づくり:**技能の向上とともに、生徒一人ひとりが成長と達成感を実感できる授業を目指している。

授業例2. 社会 【歴史を多角的に捉える授業の工夫】

- **出来事の意味を深掘り:**単なる歴史の羅列ではなく、「その出来事が日本や世界にどのような影響を与えたのか」を考察する視点を重視。
- **他教科との連携:**理科など他教科と関連づけて、学びを広げる。
- **具体例:**
大航海時代 → 地球は球体? → なぜ人は立っていられる? → ニュートンの万有引力
→ 計算を楽にするために指数関数の誕生
といったように、歴史的背景から科学や数学の発展へとつなげる探究的な学びを実践。

授業例3. 理科 【理論と現象をつなぐ探究的な授業】

- **演示実験の活用:**理論だけでなく、実際の現象を見せることで理解を深める。
- **日常生活との関連付け:**実験で示した現象をもとに、生徒自身の生活を振り返らせ、同じ原理がどこで使われているかを考えさせる。
- **調べ学習の活用:**授業や発展内容について生徒に事前に調べさせ、提出された内容を授業の冒頭で解説・共有することで、生徒の主体的な学びを促進。